

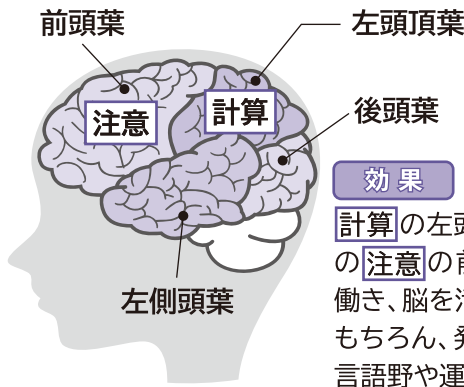
上松先生と



VOL.21

今回のテーマ

計算で脳刺激



声に出しながら早く計算をしましょう。

効果

計算の左頭頂葉、偶数・奇数への注意の前頭葉の前頭前野が働き、脳を活性化します。もちろん、発声し両手を使いますので、前頭葉の言語野や運動野も働きます。

下記の計算をしましょう。

答えが偶数の時は声を出して両手をグーにします。
一方、奇数の時は声を出して両手をパーにします。

例

Aの場合…

5 1

足して

6

= 答えが偶数なので両手をグー



Bの場合…

100-9=?

引いて

91

= 答えが奇数なので両手をパー



A. 隣どうしの数字を足し合わせます

足した答えが、偶数なら両手をグー！奇数なら両手をパー！

	足す	足す	……→									
4	1	6		2	3	5	8	4	7	9		
2	8	7		1	5	4	3	9	0	6		
3	6	2		7	4	0	1	9	8	5		
1	7	8		9	5	14	13	16	12	3		
12	15	18		11	19	13	16	14	17	0		

B. 順に引いていきます

順に引いた答えが、偶数なら両手をグー！奇数なら両手をパー！

100-9=?-8=?-7=?-6=?-5=?-4=?-3=?-2=?-1=?

91-9=?-8=?-7=?-6=?-5=?-4=?-3=?-2=?-1=?



諦めずチャレンジ
してみましょう！

和歌山県立医科大学
上松 右二 名誉教授

